## 広報委員会　田村　和子

　広報では、会誌「月報」を月１回発行しています。毎月下旬に編集会議を、１週間後に校正を重ね、製本したのち、翌月 10 日前後に、会員の皆様や医療機関のお手元に、他の配布物と共に宅配しております。

　前年度から引き続き、医師会費の有効利用に向けた経費削減の一環として、平成 28 年４月号から、紙質の見直しをおこない、表紙の装丁を一新しました（新たに開始という趣旨で、桜色の表紙になりました）。表紙の色は、一目で判別し易くメリハリをつける目的で、年度毎に変更することにいたしました。平成 29 年４月号からは、若葉の芽吹きをイメージする若草色になる予定です。

　月報は主に、巻頭言、委員会だより、府医だより、お知らせ、報告、メディカルトピックス、クラブだより、理事会だより、会務日誌、編集後記から構成されています。

　平成 28 年度巻頭言では、医療を取り巻く厳しい社会経済情勢、在宅医療推進の観点からの新しい医療提供体制構築への取り組み、地域完結型医療実現に向けての喫緊の課題等、担当役員の先生方から多くのご提言をいただきました。メディカルトピックスでは、市立豊中病院と刀根山病院各科ご専門の先生方にご協力を賜り、日進月歩の最新医療情報についてご執筆いただきました。

　また、定時総会（予算決算報告含む）、臨時総会、月２回の定例理事会、多岐に及ぶ地域健康増進事業、すなわち地域保健福祉活動事業（市民健診・特定健診・乳幼児健診・予防接種・病後児保育・在宅医療推進）、学校保健活動事業（腎臓病管理）、産業保健活動事業（産業医研修会）、災害救急医療事業、休日急病診療活動、市民健康展開催事業、病診連携事業、環境衛生・公害活動・医療安全活動事業、医療情報活動事業（ホームページ）、学術生涯教育事業、また、その他の事業（保険医活動、健康教育・健康相談、会員健診、医師会雑誌、会員厚生）、すべてに関わる各種委員会での協議・報告事項を、お知らせや報告として、適時掲載しました。また厚生労働省・大阪府・豊中市等の行政からの通知・通達や、日本医師会、大阪府医師会からの連絡事項を、遅滞なく掲載しました。

　会員の先生方におかれましては、毎月のクラブだより、班会だより等、多数ご寄稿いただき、また厚生事業にご参加賜りました先生方からは、印象記をご寄稿いただきました。会員相互の情報共有・情報交換の場として、親睦を深める誌面作成にご参加・ご協力いただき、月報を有意義な会誌となるように支えていただき、厚く御礼申し上げます。

　来年度は、より一層の誌面の充実を図るとともに、医療情報の電子化の流れにも対応できるように取り組んでいきたいと考えています。今後の誌面の内容や方向性につきまして、ご意見・ご要望を賜れましたら、有り難く存じます。

　以上をもちまして、平成 28 年度事業報告とさせていただきます。